

磯浜望洋楼に登る（三島中洲）

夜登る百尺海灣の楼

極目何れの辺か是れ米洲

慨然忽ち発す遠征志

月は白し東洋万里の秋

夜登百尺海灣樓 極目何邊是米洲
慨然忽發遠征志 月白東洋萬里秋

解説 磯浜（茨城県）の望洋楼に登り、太平洋を望んだ詩。

語釈 ※百尺＝高いことのたとえ。 ※海灣樓＝海に面して建てられた酒樓。 ※極目＝見わたす限り。 ※米洲＝アメリカ大陸。

※慨然＝心をふるい立たせるさま。 ※遠征＝遠くの国へ行きたい。 ※東洋＝文字どおり東の海、太平洋をさす。

通釈 夜、海辺の高楼に登ってみた。見わたす限りの、ひろびろとして果てしない太平洋の、どこがアメリカ大陸であろうか。そうするうちに、雄大な気持ち湧いて、ふと、海の向こうに渡ってみたいという心が起こってくる。秋の白い月の光が、果てしなく続く太平洋を照らしている。